

取手駅東口構内全ホームにエレベーター早期設置

JR 東日本東京支社に要請

日本共産党

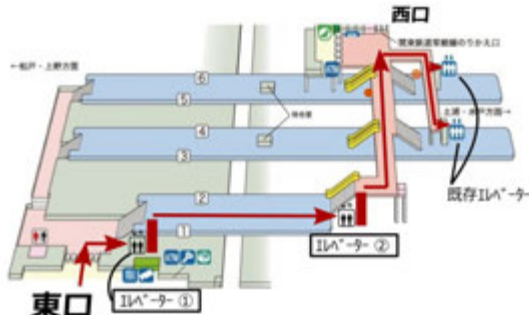
エレベーター及びホームドアを設置するためのものになっています。

JRの目的は「西口1ルートの完成」

「東口構内全ホームへのエレベーター整備が、利用者の要望に応え協定にも合致する」との共産党に、JRは「計画は西口側からの1ルートの完成」、「取手市の判断で決まった」と答弁。9月議会一般質問で「真に利便性を考え、JRと市の協定に従いルート見直し」を求めた加増みつ子市議に、市長は「1・2番線への設置が費用の面でも合理的で、進めることとした」と答えています。利便性よりも安上がりを優先し、協定に反する市長の態度に市民の批判は免れません。

日本共産党は、引き続き全ホームのエレベーター設置へ全力を尽くします。

【取手市・JR計画ルート(当初JR提案)】



西口方面に迂回し 3,4,5,6 番ホームへ

全ホームにエレベーター早期設置を要望。取手市議団と紙智子参院議員＝10月28日、JR東日本東京支社

日本共産党取手市議団は、10月28日紙智子参院議員とともに、JR東日本東京支社に対し、取手駅東口構内の全ホームにエレベーターの早期設置を要請しました。

市とJR計画ルート 協定目的に違反

利用者の切実な要求を背景に2015年8月市とJRが「JR取手駅の2ルート目のバリアフリー化整備を図ることを目的」に協定締結。その後双方の協議が行われてきました。協定目的の2ルート目(東口ルート)を整備するにあたっては、利用者の多い3・4番、5・6番線ホームへのエレベーター設置は欠かせません。しかし、本年9月議会で議決された、実施設計の補助金関係予算は、千代田線ホームに工

憲法公布73年の11月3日、安倍政権がねらう改憲に反対する行動が各地で取り組まれました。「総がかり行動実行委員会」など3団体が呼びかけた国会前憲法集会には1万人(主催者発表)が参加。市民や野党の代表が「改憲発議阻止」と声をあげました。

取手からも総がかり取手行動実行委員会の呼びかけで市民が参加しました。



通路を埋め尽くす集会参加者＝3日・国会正門前

安倍内閣は総辞職に値する異常事態
改憲発議阻止へ野党結束

選挙違反疑惑などで、菅原一秀経産相と河井克行法相が相次いで辞任。萩生田光一文科相など、閣僚や自民党幹部の失言は止まりません。安倍首相の「任命責任」が問われるばかりか、安倍首相自身の進退も問われる重大事態です。

日本共産党など野党4党1会派は安倍内閣は「内閣総辞職に値する異常事態」との認識で一致し、国会内外で共闘体制を強めています。

全国各地で「安倍自民党の改憲発議止めよう」との世論と運動が大きく広がっています。

改憲発議止めよう 国会前憲法集会に1万人

高知県知事選

11月8日公示 24日投票

統一候補に日本共産党松本けんじ氏



知事選の必勝をめざす協定書に調印し、松本予定候補(前列左から3人目)と並ぶ(右へ)広田、武内、春名、(同左へ)久保、濱田の各氏＝26日、高知市

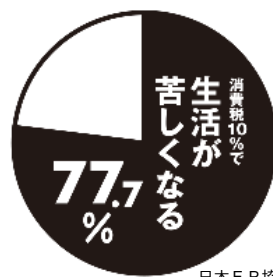
高知県内の全野党は日本共産党の松本けんじ氏と10月26日高知市内で必勝をめざす「全野党協定書」に調印しました。知事選に野党統一候補として挑む、松本けんじ氏は政策を発表し、「ここで生きよう」のスローガンのもと高知のどこに住んでも安心して暮らしていける「生きつづける県に」と表明。11月2日松本候補の勝利をめざす総決起集会が高知市で開かれました。

知事選の野党共闘候補は全国で4人目です。

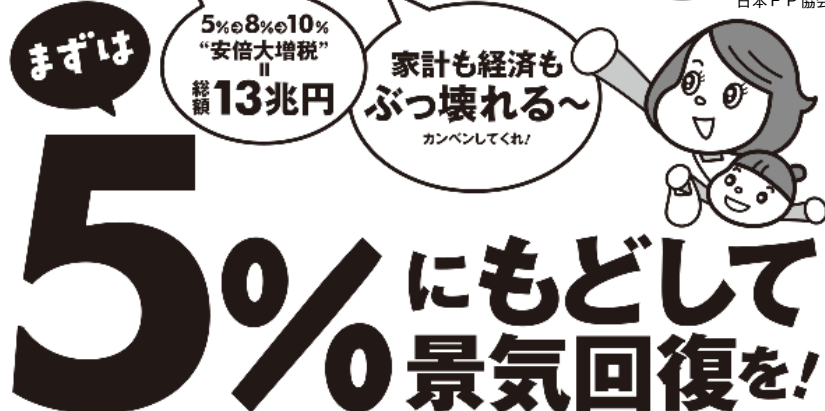
消費税10%

安倍政権が強行

2014年の8%増税で家計消費は落ち込んだままなのにそのうえ今回の増税で、国民の負担は総額13兆円にも。このままでは、日本は破滅への道まっしぐらです。国民が声をあげ、「消費税増税ありき」の政治をやめさせましょう。



日本FP協会調査



消費税率5%に引き下げる署名にご協力ください。

医療・介護、子育て・教育、防災に強い街づくりなど 2020年度取手市予算編成に関する 300項目 要望書提出

**日本共産党
市議団**

【主要要望項目】

- ① 医療・介護の拡充で暮らしと健康を守る
- ② 子どもたちが安心してすごし学べる保育所・学校教育、若い世代の定住を促進する。
- ③ 地場産業優先の産業政策への転換で地域経済の再生、雇用の安定を図る。
- ④ 住環境の整備、快適・安全、魅力ある災害に強い取手の街づくりを進める。

- ⑤ 河川の樋管管理体制及び災害時の正確・速やかな情報伝達・避難所拡充など、住民の生命と財産を守る防災対策の抜本的強化。
- ⑥ 東海第2原発の再稼働に反対し原発ゼロをめざすこと。相次ぐ台風による被害が広がるもとで、万全な対策を求めた市議団に副市長は、「今回の教訓を今後の課題に生かしたい」と答えました。

10月31日 共産党取手市議団は来年度市予算編成に向け市民から寄せられた要望をまとめ300項目以上におよぶ、要望書を取手市長に提出しました。



予算要望書を提出し、副市長・総務部長と協議する
共産党市議団＝10月31日、市役所

災害から市民の命・安全を守る緊急要請

日本共産党市議団

共産党市議団は10月18日、市に対し緊急要請を行いました。

100年に1度と言われた大型災害が毎年のように襲来する今日、市の対策も早急に且つ抜本的に見直す時期にきています。状況を知らせる防災無線は「豪雨の中でもあり、言っている事がよくわからない」と問い合わせが殺到、どしゃ降りと学校下校時間が重なる中での帰宅指示（通学路が雨であふれている）、避難解除後再避難発令指示、土砂災害と河川氾濫で避難場所が違い戸惑う避難者も多く不備が目立ちます。市民のみなさんに速やかなわかりやすい情報が必要です。



増水中の利根川
＝10月13日、取手市小堀から

- ① 台風19号による、家屋・農業・商業等被害状況の十分な調査と被害に応じた支援を行うこと
- ② 災害時の情報は、正確・速やかにすべての市民に行き渡るよう発信機器の拡充・改善を図ること
- ③ 避難所の拡充・改善をはじめ地域防災計画の抜本的・見直しを行うこと
- ④ 利根川・小貝川等樋管管理体制強化を図ること
- ⑤ 災害対策本部など非常時の対応はもちろん、常備消防の強化と合わせ日常的な防災対策の強化を図ること

災害救援募金ご協力への御礼

取手市で共産党に寄せられた台風災害救援募金30万8674円を超えました。（11月6日現在）お預かりした募金は党中央委員会を通じて被災自治体にお届けしました。

お詫びとご報告

市議会議員 遠山ちえ子

この度、私・遠山智恵子は10月17日に行われた戦没者追悼式に出席し、受付で一般席への案内を受けました。その際私は、議員（来賓）の席にこだわり職員に圧力とも受け取れる行為を行ってしまいました。議員には、「権限や地位による影響力を不正に行使しないこと」と厳しく戒められている中で、私の今回の行為は許されないものであったと反省しています。担当職員をはじめ関係者の皆さんに、ご迷惑と不快な思いをさせ申し訳ございません。私自身猛省していることをお伝えし、議会でも謝罪したことを報告させていただきます。

取手市戦没者追悼式での共産党議員の行為について

市議会議員は、市民の付託を受けた者として、常に自らを律することが求められています。そのため市長、副市長、教育長並びに市議会議員の責務、政治倫理基準など規定し、公正で開かれた市政の発展に寄与することを目的に政治倫理条例を定めています。共産党議員団は、他党派議員とも共同し政治倫理の向上に条例改正などにつとめてきました。

10月17日の遠山議員の行為は、政治家の倫理について、一貫して厳しい態度をとる共産党議員として、あってはならない行為であり、共産党議員団としても、2度と繰り返すことのないよう深く反省し、関係者の皆様に心からお詫び致します。

2019年11月1日
日本共産党市議会議員団